

先端技術への挑戦（令和2年度ドローン産業振興事業）

- ドローン産業振興は、①機運醸成、②産業への活用、③地域における実装、④稼げる産業への転換の4本柱
- あらゆる用途でドローンの社会実装を加速化させるとともに、企業が取り組む先駆的な分野への挑戦を支援

① 大分県ドローン協議会

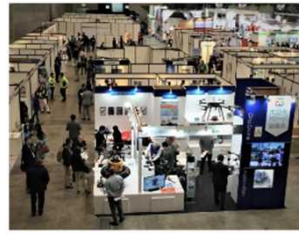
県内ドローン産業の集積と発展を目的に、活用方法の紹介や技術・用途開発、販路開拓支援をワンストップで実施（平成29年設立）



普及セミナー・講習会開催



研究開発支援



展示会への出展

新たに「社会実装促進支援補助金」を創設
ドローンユーザーが抱える課題にドローン事業者が連携して解決に取り組み、公開プロモーションを行う事業を支援



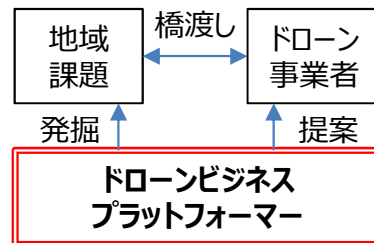
急斜面での運搬

② ドローンビジネスプラットフォーム

県内外のドローンソリューションを積極的に活用し、地域課題の解決及びドローンの社会実装を加速させていくため、ドローンビジネスプラットフォームを立ち上げ・運営を支援

＜事業概要＞

- ドローンユーザーとドローンサービス事業者とをつなぐITサービス・システムの構築
- ドローン活用ニーズの発掘・把握
- ドローンの活用可能性のある事業を試行し、ビジネス化を実施



③ ドローン物流の社会実装

大分県津久見市無垢島を実証フィールドとして取り組むドローン物流社会実装プロジェクトにおいて、試験運航までを実現

R2.3.2～3.22 令和元年度ドローン物流実証実験

島民から注文を受けた商品をドローンで配送し、自動化した商品の受発注や配送品の受取確認などの一連の流れを検証

＜全国初＞ドローン配送薬局の開設、ドローンポート付き荷物収納BOXの運用開始等



①商品注文



②受注・荷造り



③ドローンフライト



④荷物受取

実装を阻む課題解決の加速化、他地域への横展開を実施

- 使用負担の軽減や飛行コスト低減に必要なソリューションの活用
- 中山間地での買い物支援等での活用など他の実用化事例を創出

④ ドローンアナライザ検査装置の確立

産業科学技術センターと県内企業で共同開発する、ドローンの機体性能をオールインワンで行うことができる「ドローンアナライザ」の機能を強化

- 国は、ドローン飛行の安全に関する制度の基本方針を2019年度内に策定
- ✓ 機体の安全性・信頼性の認証
 - ✓ 操縦者や運航管理者の技能・資格制度
 - ✓ 運航管理に関するルール



全国に先駆けてドローンの安全な利用基盤を構築

大分県ドローン協議会 補助メニュー

◎ 機器 & ソフト・サービス開発支援

ドローンに関連する新たな機器開発を支援するとともに、今後の市場拡大が見込まれるソフト・サービスへのビジネス展開を支援します。令和2年度からは、ユーザー意見を取り入れたデザインシンキング型の事業を優先的に採択します。

機器開発補助金（予算額：15,000千円）

補助上限 5,000千円 × 3件（補助率2/3）

ソフト・サービス開発枠補助金（予算額：5,000千円）

補助上限 2,500千円 × 2件（補助率1/2）

過去の補助事例

ciRobotics株式会社
ウインチシステムを用いた多用途
向け資材搬送装置の開発
（R1補助）



株式会社オーイーシー
ドローン飛行空域管理サービス
「DUCT」の開発
（H30補助）



◎ 社会実装促進支援

ドローンの社会実装を促進するため、ユーザーとドローン事業者が構築する先駆的なモデル事業に対して、公開プロモーションに要する費用等を支援します。

社会実装促進補助金（予算額：4,500千円）

補助上限 1,500千円 × 3件（補助率1/2）

モデル事業を構築

ユーザー



・補助金申請
・フィールド提供



ドローン事業者



・ドローン機体等販売
・技術指導等

いずれも募集期間は4月～5月中旬頃を予定

公開プロモーションを実施